

# 報 し ん ね

人口のうごき	
(3月1日現在)	(2月中)
人口・34,040	出生・51
男・16,343	死亡・27
女・17,697	転入・66
世帯・6,362	転出・50

## 新年度予算案

### 五億六千八百萬円の大型

#### 白根中央保育所を建設

- 予算案といわれている三月の定例市議会が、この十日か……
- ……市役所の議場で開かれています。
- ……ここでは昭和四十二年度におこなうおまな仕事と、そ……
- ……れにともなう予算が審議され、来年度の市政の方向が決ま……
- ……ります。くわしいことは四月号の「広報しんね」でお知ら……
- ……せしますが、今回はそこに提案されている一般会計の予算……
- ……案について、そのあらましをお知らせします。

#### 商工振興 金融対策 二千八百萬円

ます予算の総額から見ると、今年度の当初予算を六・四億(二億四千万円)上回る五億六千八百萬円と見られており、災害などで超大型予算といわれた昨年の当初予算を百万円あまり上回っています。

このように予算が年々大型化してゆくのは国をはじめ全国的な傾向で、その背景には当然のことながら物価の高騰と人件費の増大が影響していることを否定できません。これに要する財源計画のおまなものは、市税の伸びを昨年より

#### 工業調査の出荷額 四十七億五千万円

前年より七億八千万円増

去年の十二月三十一日現在でおこなわれた工業調査の結果がこのほどまとまり、市の統計係から概数が発表になりました。

それによると出荷総額では四十七億五千万円で、前年の同調査の時よりも七億八千万円の増となっています。また一昨年のそれと比較すると十七億五千万円の伸びを認めます。関係者の目を見はらせて

また従業者数においても昨年より四百四十五人ふえて三千七百七十二人となっており、一昨年との比較では五百九十一人増と年々工業の占める割合は高くなっています。

(単位万円)			
種目	昭和41年度	昭和40年度	昭和39年度
製造品出荷額	475,000	396,988	300,069
年末在庫数	43,335	30,007	21,200
従業者数	3,172	2,727	2,581
工場数	259	208	201

#### 七十三年の伝統に終止符

##### 白根小 二月十五日から取りこわし

明治二十六年に建築されたから七十三年という長い間、子どもたちの学びやとしてたしなまれ、本市教育の向上に活躍した白根小学校西側校舎は、二月十五日から取りこわ



(取りこわしにかかった西校舎)

同校舎は老朽度がはげしいため、数年前からすでに教育施設として、使用されておらず、この取りこわしになったもの。作業には市内引越の関根組が落札し取りこわし期限の三月三十日にまにあいうよういそいでいます。

同校舎の敷地面積は四百六十平方メートルで、下り価格は二十万円となっていました。取りこわしに必要なる夫貨や運搬費、整地費、それに残った校舎の補修費などはすべて業者負担となっており、これらを合計すると実質的な払い下げ価格は百二十万円くらいになると見られています。

また、同校舎のあゆんできた道はただ小学校の校舎としてばかりでなく、大正十二年には県下でもかすくすく足利高等女学校として町立で発足し昭和二十三年廃校になるまでの二十五年間、同高校校舎としても活躍してきました。

校舎前の広場は、いままでも子どもたちの遊び場となっていました。この取りこわし

#### 果樹栽培に新体制 将来は全市一元化も

果樹畑二百ほをもつ白根市は、県下でも指おりのくたもの産地です。しかし現在の生産出荷の体制は、各戸、各生産組合単位にバラバラでちいさいため、全国的にはあまり名前が知られていません。これを「白根のくだもの」として、広く全国的に販路を開こうと昨年果樹振興協議会が誕生し、いろいろ対策をねてきました。

そして二月十七日、産業厚生会館で流通反省会を開き、具体的な対策について話し合いました。これは市や普及所などが数年前から呼びかけた結果、それが今回はいよいよ実現をみたわけですね。現在白根市内には、新飯田果樹協同組合をはじめ、小林、大郷、白井、下茨、丸瀧、清水、庄瀬、東置場の九果実生産組合があり、ものなし、ぶどう、りんごなどを作っていますが、その生産指導や出荷体制などは各組合ごとにおこなわれています。これを将来は「白根のくだもの」としての一元化をはかり、広く販路を求めようというのがねらいで、この日は生産者側から各組合の代表と消費者側からつねに消費者に接している販売業者が新瀧、長岡、三条などから集まりました。そこで両者の声を参考に、最終目的である一元化を実現するためにまず①品質の統一②統一した出荷方法を話し合いました。

また①の具体的な方法として、出荷の際の選定をもっと厳重にし、外見よりも味の向上をはかるために、栽培技術の統一指導をおこなう②では荷姿を統一し、将来は白根のくだものとして全部同じマークで出荷できるように体制をつくる、これによって全国各地で「白根のなし」「白根のもも」「白根のぶどう」として広く販路が開けるだろうとこの会合に主催者側では期待をかけていました。

#### 薬剤の空中散布に新しい試みを

毎年おこなっている二酸化イソシアンの空中散布が、ことしも白根、鷲巻の両地区でおこなわれることになりました。これは、昭和三十七年に労働

作業が終わって整地されれば、これからは絶対の遊び場として子どもや父兄から喜ばれることでしょう。

そして、もうひとつ忘れてならないのは、いまの県立白根高等学校を誘致する大きな原動力となったことです。

市選管では、四月二十八日におこなわれる市議会議員の立候補予定者に対し、届けいでのしかたや選挙運動などについての説明会を三月二十五日、午後一時三十分から市役所議場で開きます。立候補を予定されるかたは、また、推せんしようとするかたは、ぜひ出席くださいと選管ではよびかけています。

4月15日は新潟県議会議員一般選挙  
4月28日は白根市議会議員一般選挙  
の投票日です



～明るく正しい選挙をおこないましょう～